会第19回学術講

023.8.28(月)~8.29(火)

≪@東北大学 片平さくらホール・川内北キャンパス ≫

1.はじめに

2009年の第6回学術講演会から毎回開催されている学生セッション は、今回で14回目を迎えることになりました。

本学生セッションは、学生と産業界(現場)との意見交換などの交流 を通じて、学生の皆さんに「保全活動」に対する意識や意欲を高めて頂 くことを大きな目的/特徴としており、多くの参加者やその関係者から 学生セッションの価値や意義に対し、高く評価頂いております。

これから社会人となる学生の皆さんにとっては、自分たちの研究成 果が産業界の現場ニーズの視点からどのように評価されるのかという

ことは、大きな関心事であるとともに不安材料でもあると思います が、新しい気付きや刺激を受けることで、研究者や技術者として成 長する場として大きなメリットがあるものと確信しております。

学生セッションは、今回も対面形式での開催を予定しており、産 業界を代表する評価委員や他学生との意見交換を通じて知見や ネットワークを広げる貴重な場として活用して頂きたいと考えてお りますので、学生の皆さんの積極的な参加をお願い致します。

2.応募要領について

(1)学生セッションの概要

- ●大学および大学院の学生を対象にしたセッションであり、発表を通 じて学生の「保全活動」に対する意識や意欲の向上を狙いとしてい る。この視点から、口頭発表(オーラルセッション)に加えて、ポス ターセッションを設けて発表内容についての審査員(産業界を代表 する10名程度)とのコミュニケーション(質疑応答)の場を設けている。
- ●審査は、オーラルセッション(発表+質疑応答)とポスターセッション(質疑 応答)の2部構成となっており、両方の審査結果の総合点により表彰を行う。
- ●発表テーマ/対象は、原子力発電所等の保全活動への活用が考 えられる技術であれば、原子力分野の研究に限らない。 大学で 取り組んでいる様々な研究テーマを「保全活動への活用」という 視点で整理して発表して頂くことを期待している。
- ●応募者は、期日までに所定のフォームに必要事項を記載の上申 し込みを行うとともに、発表者については、研究発表の概要(予 稿)を別途期限までに提出のこと。

(2)応募方法/期限

日本保全学会 第19回学術講演会 特設サイト

https://jsm-conference.com/ にてお申し込みください。

応募期限: 4月28日(金)_{※必着}

・なお、応募者数が多数 ・発表者は、別途6月16 で定員(12名)を大幅に 超える場合には、先着 順等にて締め切る場合 があります。

日(金)までに、発表 の概要(予稿)を提出 する必要があります。

3.発表/審査/表彰について

(1)発表/審査要領

オーラルセッション

- ●プレゼンテーション(15分) + 質疑応答(5分)
- ●資料は、プレゼンテーション用の資料(pptなど) を準備のこと。

ポスターセッション*

- ※評価委員は3チームに分かれて審査を行う予定
- ●審査員との質疑応答(20分程度×3回)
- ●資料は、研究内容をポスター(~A0タテ) にまとめて掲示のこと。

発表者の数や学術 講演会全体のプロ グラムとの調整に より、発表時間や質 疑応答時間が変更 になる可能がありま すが、その場合は事 前に通知します。

・ポスターセッションに ついては、審査用の 時間枠以外は、一 般参加者や他の学 生との交流や意見 交換の場として活 用下さい。

(2)審査のポイント

オーラルセッションとポスターセッションについて、以下の視点 から審査を行う。

①現状課題に対する理解:

ポスター【オーラル

研究テーマの背景となっている現状課題に対する問題意識や課題解決 に向けての研究の意義などが正しく理解できているか。

②研究内容:

オーラル ポスター

当該研究の目的/プロセス/成果を明確に提示出来ているかという視点 に加えて、当該研究における発表者の役割や貢献度なども対象とする。

③プレゼンテーション:

[オーラル]

発表のわかり易さ、時間配分、質疑応答の的確さなど。

(3)表彰

- ●審査は、オーラルセッションとポスターセッションの両方に ついて行い、その総合点により表彰(最優秀賞、優秀賞、 独創賞、プレゼンテーション賞など)を行う。
- ●審査結果の発表/表彰は、閉会式[8月29日(火)]に行う。

4.その他

その他詳細は、日本保全学会ホームページ (第19回学術講演会)にて案内予定。

